

1. 環境学習コーディネート実施概要 (Web 掲載)

依頼No	12	事例No	8	依頼者	東浦町石浜地区コミュニティ推進協議会	実施場所	東浦町立片葩小学校 家庭科室
実施対象	小学1年生～6年生までの親子 (30名)						
実施日時	令和4年11月6日(日)10時～11時						
テーマ	地域の歴史や環境問題についての学習の機会を与える						

●依頼内容

東浦町石浜地区にて秋に開催されるイベント内において、親子参加型の実験を伴う環境学習講座を実施したいので、講師を紹介してほしい。

●講師：村瀬政彦氏 (環境カウンセラー、愛知県地球温暖化防止活動推進員)

村瀬政彦氏は、ごみ・資源循環・3R、エネルギー問題などを専門とされ、愛知県地球温暖化防止活動推進員であるとともに、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット(温暖化まなびネット)」にも登録されている。

●授業の内容

座学	地球温暖化について	講師は、地球温暖化の原因や仕組みについてイラストやグラフを使って解説を行った。また、子どもにも親しみやすく、分かりやすいように、温暖化の影響や現状、将来予測について、シロクマが語るというような工夫がされていた。最後に、温暖化対策を「我慢を強いるもの」としてではなく、私たちの暮らしに「楽しさ」や「快適さ」をもたらすものとして捉えて、「みんなで省エネやSDGsに取り組むことが大切である」という呼びかけがされた。	20分
工作	光の小箱づくり	講義終了後、牛乳パックを使ったリサイクル工作「光の小箱づくり」を行った。「光の小箱づくり」は、まず牛乳パックで四角い枠を作り、その中に筒状に丸めた銀紙を立てて並べ、さらにその表面にカラフルなセロハンを貼って仕上げ、光を通すと様々に変化する光の様子を楽しめるという工作である。参加者は親子で協力しながら作っていた。	40分

●授業の様子

本講座は、地区の歴史を学ぶ講座終了後に、参加者の入れ替えなしで始められたため、講座の内容を知らないまま聴講した人もいたと思われるが、用意された席は子どもたちで埋まり、大人はその周りに立って聴講していた他、途中から参加する人もあり、全体的に賑やかな雰囲気が進められていた。「光の小箱づくり」では、途中、工作に苦勞する様子も見られたが、完成すると子どもたちは楽しそうに小箱をのぞき込んでいた。当初の想定では、主たる参加者として親子を見込んでいたが、高齢者の参加もあり、子どもたちに混ざって工作を楽しんでいた。

地球温暖化の原因や仕組み、影響について学んだ。



「光の小箱」を作成した。

